

一般社団法人 日本原子力学会  
第 86 回 標準委員会 議事録

1-1 日 時：2021 年 12 月 9 日（木）13：30～

1-2 会議方式：Web 会議

1-3 出席者（敬称略）

（出席委員）山本委員長，中村副委員長，成宮幹事，井口，石川，牛尾，小澤，金子，木倉，黒田，  
酒井，関村，高田，竹山，田中，中井，松井，三宅，椋木，山口，吉原（21 名）

（代理委員）鬼沢邦雄（システム安全専門部会部会長／岡本委員）

田村明男（原子燃料サイクル専門部会幹事／高橋委員）（2 名）

（欠席委員）越塚（1 名）

（委員候補者）戸澤 克弘（富士電機）（1 名）

（フェロー委員）宮野（1 名）

（常時参加者）鈴木，佐々木，藤澤（3 名）

（欠席常時参加者）椎名（1 名）

（オブザーバー）櫛崎 貴吉（原子力エンジニアリング）（1 名）

（説明者）【原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会】脇幹事，柏木委員

【システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会】中村幹事

【原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事

【リスク専門部会 レベル 1PRA 分科会】桐本副主査，橋本幹事

【システム安全専門部会 PLM 分科会】中川幹事

【原子力安全検討会】成宮幹事，高田孝委員

【リスク専門部会 PRA 品質確保分科会】倉本委員

【システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会】松本副主査，倉本幹事

【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会】桐本幹事，泥谷委員

【基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会】田中幹事，工藤委員

【基盤応用・廃炉技術専門部会 放出源の有効高さと評価分科会】佐田副主査，藤井幹事，岡林委員

【システム安全専門部会 水化学管理分科会】河村主査

【技術評価対応者】大畑(LLW 放射能評価分科会幹事)

【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会】根岸幹事

【JIWG】川口コーディネータ

【標準活動基本戦略タスク】成宮主査，鬼沢委員，三宅委員（延べ 26 名）

（事務局）大沼，牧野，正岡（3 名）

1-4 配布資料：

SC86-0 第 86 回標準委員会議事次第（案）

SC86-1 第 85 回標準委員会議事録（案）

SC86-2-01 人事について（標準委員会）

SC86-2-02 人事について（専門部会）

SC86-2-03 標準活動基本戦略タスク委員名簿

|               |                                                                           |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------|
| SC86-3-01     | “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法ードラム缶形態編ー”<br>標準原案に関する公衆審査で受け付けたご意見の対応について（案）    |
| SC86-3-02-1   | “BWRの核熱水力安定性評価基準：2021” 標準制定後の修正について                                       |
| SC86-3-02-2-1 | “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”<br>標準改定原案に対する転載許諾等への対応について           |
| SC86-3-02-2-2 | “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”<br>（改定案）新旧比較表                        |
| SC86-3-02-2-3 | “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”（案）<br>完本版                            |
| SC86-3-03-1   | “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び<br>同指針（レベル1 PRA編）202X” 新規標準原案の本報告について |
| SC86-3-03-2   | “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準（レベル1<br>PRA編）202X” 新規標準原案               |
| SC86-3-03-3   | “原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する指針（レベル1<br>PRA編）202X” 新規標準原案               |
| SC86-3-03-4   | 参考：基準・指針 新規標準原案と現行版との対比                                                   |
| SC86-3-04-1   | “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補1）” 標準委員会本報告案                                   |
| SC86-3-04-2-1 | “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補1）” 標準原案                                        |
| SC86-3-04-2-2 | “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補1）” 標準原案 添付資料                                   |
| SC86-3-04-3   | “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補1）” 標準原案 別紙-2<br>標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明         |
| SC86-3-05-1   | 技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）の本報告に<br>関する意見募集結果について                     |
| SC86-3-05-2   | 技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）の本報告に<br>関する意見募集で受け付けた意見への対応について           |
| SC86-3-05-3   | 技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）別紙-2<br>標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明             |
| SC86-3-05-4   | 技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）                                           |
| SC86-3-06     | “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思<br>決定に関する実施基準：2019” の英訳版作成について       |
| SC86-3-07     | “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：2014” の改定<br>について                           |
| SC86-3-08-1   | “発電用原子炉施設の廃止措置計画の安全評価基準：20XX” 標準原案の中間報告<br>に関する意見募集結果について                 |
| SC86-3-08-2   | “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案の<br>中間報告に関する意見募集で受け付けた意見への対応について    |
| SC86-3-08-3   | “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準 別紙-2<br>標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明        |
| SC86-3-08-4   | “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）完本版                                    |
| SC86-3-08-5   | “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）新旧対比表                                  |
| SC86-3-08-6   | “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）標準委員<br>会中間報告意見募集コメント対応表               |

- SC86-3-08-7 回答書（補足）「グレーデッドアプローチについて」
- SC86-3-09-1 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”改定に係る中間報告について
- SC86-3-09-2 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”改定原案
- SC86-3-09-3 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”改定前後比較表（案）
- SC86-3-09-4 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”別紙-2 標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- SC86-3-10-1 標準委員会主催企画セッション「規格基準類における役割と関係の整理」
- SC86-3-10-2 標準委員会共催 水化学部会主催企画セッション「水化学管理標準の活用事例と要望」
- SC86-3-11 L1 放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応状況について（報告）
- SC86-3-12 JCNRM からの「地震 PRA 標準 2015 英語版」へのコメント対応方針
- SC86-3-13 JCNRM への参加報告について
- SC86-4-1-1 標準委員会の基本戦略にかかる検討状況
- SC86-4-1-2 標準委員会の活動基本方針の修正案（新旧比較）
- SC86-4-1-3 標準委員会の活動にかかる基本方針
- SC86-4-1-4 標準活動基本戦略タスク 2021 年度第 3 回議事録（案）
- SC86-4-1-5 2021 年度-2022 年度計画（工程）
- SC86-4-1-6 2021 年度第 2 回標準活動運営委員会議事録（案）
- SC86-4-2 2021 年度標準委員会の日程について（案）
- SC86-4-3 2021 年度「倫理教育の周知徹底」に関する活動状況について
- SC86-4-4 原子力安全検討会の今後の進め方の検討状況について

#### 参考資料

- SC86 参考 1 標準委員会委員名簿（案）
- SC86 参考 2 標準委員の出席状況及び投票状況
- SC86 参考 3 標準委員会の活動状況
- SC86 参考 4 専門部会の活動状況
- SC86 参考 5 標準委員会等の委員への資料公開方法について

## 2 議事内容

事務局から，開始時点で委員（フェロー委員含め）25 名中，23 名の出席があり，委員会成立に必要な定足数（18 名以上）を満足している旨の報告があった。その後，定足数確認中に 1 名が参加し，24 名の出席となった。

### （1）前回議事録の確認（SC86-1）

事務局から，前回議事録（案）の報告があり，承認された。

(2) 人事について (SC86-2-01~2-03)

I. 事務局から SC86-2-01, 2-02 に基づき, 標準委員会, 専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

a. 標準委員会

①理事会による委員選任承認の確認

|       |              |                   |
|-------|--------------|-------------------|
| 黒田 理知 | 東芝エネルギーシステムズ | 2021. 9. 28 理事会承認 |
|-------|--------------|-------------------|

②理事会による委員再任承認の確認

|       |             |                   |
|-------|-------------|-------------------|
| 中井 良大 | 日本原子力研究開発機構 | 2021. 9. 28 理事会承認 |
|-------|-------------|-------------------|

|       |                   |                   |
|-------|-------------------|-------------------|
| 松井 哲也 | 日立 GE ニュークリア・エナジー | 2021. 9. 28 理事会承認 |
|-------|-------------------|-------------------|

③委員退任の確認

|      |      |              |
|------|------|--------------|
| 尾崎 博 | 富士電機 | 2021. 11. 30 |
|------|------|--------------|

|       |            |              |
|-------|------------|--------------|
| 中村 雅人 | 日本原子力保険プール | 2021. 11. 30 |
|-------|------------|--------------|

④委員選任の決議

|       |      |  |
|-------|------|--|
| 戸澤 克弘 | 富士電機 |  |
|-------|------|--|

⑤委員再任の決議

|       |        |                   |
|-------|--------|-------------------|
| 井口 哲夫 | 元名古屋大学 | 2022. 03~2024. 02 |
|-------|--------|-------------------|

理事会による委員の選任承認, 及び再任承認が確認された旨の報告があった。  
また審議の結果, 委員の選任, 再任が決議され, 委員の退任が確認された。

b. リスク専門部会

①委員退任確認の確認

|       |           |              |
|-------|-----------|--------------|
| 千歳 敬子 | 原子力安全推進協会 | 2021. 08. 10 |
|-------|-----------|--------------|

委員退任確認が確認された。

c. システム安全専門部会

①委員退任確認の確認

|       |           |              |
|-------|-----------|--------------|
| 鎌田 信也 | 原子力安全推進協会 | 2021. 10. 14 |
|-------|-----------|--------------|

②委員選任決議の承認 (決議)

|      |      |  |
|------|------|--|
| 大谷 司 | 電源開発 |  |
|------|------|--|

|        |      |  |
|--------|------|--|
| 益田 真之介 | 東北電力 |  |
|--------|------|--|

③委員再任決議の承認 (決議)

|       |             |                   |
|-------|-------------|-------------------|
| 中川 信幸 | 原子力エンジニアリング | 2022. 03~2024. 02 |
|-------|-------------|-------------------|

委員退任確認が確認され, 審議の結果, 委員選任・委員再任決議の承認が決議された。

d. 基盤応用・廃炉技術専門部会

①委員再任決議の承認 (決議)

|       |             |                   |
|-------|-------------|-------------------|
| 田中 正暁 | 日本原子力研究開発機構 | 2022. 03~2024. 02 |
|-------|-------------|-------------------|

審議の結果, 委員再任決議の承認が決議された。

e. 原子燃料サイクル専門部会

①委員選任決議の承認（決議）

藤原 啓司 原子力環境整備促進・資金管理センター

審議の結果、委員選任決議の承認が決議された。

II. 標準活動基本戦略タスクの人事

事務局から SC86-2-03 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事について報告があった。

3 審議事項

(1) 【報告・審議】（SC86-3-01）

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法—ドラム缶形態編—”標準原案に関する公衆審査で受け付けたご意見の対応について

（担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会 協幹事、柏木委員）

原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会 協幹事、柏木委員から SC86-3-01 に基づき、題記標準原案に関する公衆審査で受け付けたご意見の対応について報告があり、審議の結果、ご意見提出者に本回答案を提出すること、及び修正は編集上のものではないことから、再度、専門部会で議論することが決議された。

(2) 【報告・審議】（SC86-3-02-1）

① “BWR の核熱水力安定性評価基準：2021” 標準制定後の修正について

（担当：システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会 中村幹事）

システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会 中村幹事から SC86-3-02-1 に基づき、題記標準制定後の転載許諾に伴う修正について報告があり、審議の結果、修正は編集上のものであることが確認され、再々制定・発行することが決議された。

(2) 【報告・審議】（SC86-3-02-2-1～3-02-2-3）

② “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” 標準改定原案に関する転載許諾について

（担当：原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事、松本委員）

原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事から SC86-3-02-2-1～3-02-2-3 に基づき、題記標準改定原案に関する転載許諾について報告があり、審議の結果、修正は編集上のものであることが確認され、再制定・発行することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：今後の転載許諾の審議については、文意が変わっている可能性があるものについては標準委員会で審議すべきであるが、エディトリアルな修正なら、標準活動基本戦略タスクの方で審議し、報告してもらうことにしたい。

(3) 【報告・審議】（SC86-3-03-1～3-03-4）

“原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針（レベル 1 PRA 編）202X” 新規標準原案の本報告について

（担当：リスク専門部会 レベル 1PRA 分科会 桐本副主査、橋本幹事）

リスク専門部会 レベル 1PRA 分科会 桐本副主査、橋本幹事から SC86-3-03-1～3-03-4 に基づき、題記新規標準原案についての本報告があり、審議の結果、30 日間の決議投票を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：今後の事業者の RIDM 推進のためにも，このような PRA 標準の性能化・階層化が望まれる。本原案は，標準を使う側のみならず，作る側から今後参照していただけるものとなり得ることからも重要。

Q：本原案は新規の位置づけであるが，現行版の処置はどう考えているのか。

A：本原案の発行後も当面は現行版も並行して使用できるようにする。その間のご意見なども踏まえて，現行版を廃版としてよいかを別途判断する予定。そのスケジュールは，標準策定 5 か年計画に取り込んでいる。

Q：産業界で海外専門家による PRA レビューが行われているが，そこから得られた知見などは反映されているのか。

A：基本的に海外専門家によるレビューの知見は，当該事業者の知的財産であるが，開示できる範囲での情報は提供頂いており，今回原案の検討に反映している。

#### (4) 【報告・審議】（SC86-3-04-1～3-04-3）

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 1）” 標準改定原案に関する本報告について（担当：システム安全専門部会 PLM 分科会 中川幹事）

システム安全専門部会 PLM 分科会 中川幹事から SC86-3-04-1～3-04-3 に基づき，題記標準改定原案についての本報告があり，審議の結果，30 日間の決議投票を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：専門部会での議論や論点を教えてほしい。

A：経年劣化メカニズムまとめ表の耐震安全性評価の情報を運転初期からの経年劣化管理でも活用する改定について，その動機（まとめ表の利用促進）と具体的内容（30, 40, 50 年目の評価時にのみ使用していた規定を運転初期から活用する）を審議して，本日の本報告資料に記載した。

#### (5) 【報告・審議】（SC86-3-05-1～3-05-4）

技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）の本報告に関する意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

（担当：原子力安全検討会 成宮幹事，高田孝委員）

原子力安全検討会 成宮幹事，高田孝委員から SC86-3-05-1～3-05-4 に基づき，題記技術レポートに関する意見募集の結果，3 名の委員から意見があった旨の報告と，意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり，審議の結果，意見対応による修正が承認され，技術レポートを発行することになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：1F 事故の反省から一般に外的事象は全長前兆を捉えて対応すべきと考える。その点を追記していることを理解した。

Q：特重施設の解釈改定について規制庁から文案が出ているが確認したのか？

A：確認した。本技術レポートでは解説に説明を記載していたので，そこを見直した。

#### (6) 【報告】（SC86-3-06）

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019” の英訳版作成について

（担当：リスク専門部会 PRA 品質確保分科会 倉本委員

システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 松本副主査，倉本幹事）

リスク専門部会 PRA 品質確保分科会 倉本委員，システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会 松本副主査，倉本幹事から SC86-3-06 に基づき，題記標準の英訳版作成について報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：英訳版は標準として発行し、販売するというものか。標準として発行することに関しては、どのような議論があったか。

A：その通りで、青表紙の標準での発行を考えている。英訳版についても、正式な審議を行った上で標準として発行するというのが標準委員会の方針であり、それに従っている。標準としては、日本語のものが正であり、それに準じる英訳版という位置付けになる。

Q：英訳版においては、正式版は日本語のものであるということも書くのか。

A：これまでの英訳版でもそのような注釈記載をしており、今回英訳版においてもその記載を行うようにする。

C：IRIDM 標準検討では、IAEA、NRC の考えも参考にした上で技術レポートをまとめ、それをベースにして標準を策定してきたという経緯もあり、それを説明することを含め、この英訳版の価値は高いと考える。IRIDM 標準は、INSAG-25 に基づき作成されたものであるが、今後引き続き、INSAG-27 以降の新しい考え方を取り入れアップデートしていくことも考えていかねばならず、現状国内でとりまとめた標準の英訳版は、IAEA、NRC の関係者との議論などに有効であろう。この議論のためにも、標準英訳版に添えて日本における IRIDM に係る活動の状況、背景、今後の改善取組みなどを説明するレターを作成することも検討してほしい。

(7) 【報告・審議】 (SC86-3-07)

“外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：2014”の改定について

(担当：リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 桐本幹事、泥谷委員)

リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 桐本幹事、泥谷委員から SC86-3-07 に基づき、題記標準の改定について報告があり、審議の結果、本実施基準の改訂に関する趣意書について承認された。

(8) 【報告】 (SC86-3-08-1～3-08-7)

“発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”標準原案の中間報告に関する意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事、工藤委員)

基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事、工藤委員から SC86-3-08-1～3-08-7 に基づき、題記標準原案の中間報告に関する意見募集の結果、2名の委員から意見があった旨の報告と、意見募集で受け付けた意見への対応について報告があった。

コメント者から回答案で問題ない旨の発言をいただき、その他の追加コメントもなく中間報告が了承された。本報告に向けて標準案の整備を継続することとする。

(9) 【報告・審議】 (SC86-3-09-1～3-09-4)

“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”に関する中間報告について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 放出源の有効高さ評価分科会 佐田副主査、藤井幹事、岡林委員)

基盤応用・廃炉技術専門部会 放出源の有効高さ評価分科会 佐田副主査、藤井幹事、岡林委員から SC86-3-09-1～3-09-4 に基づき、題記標準改定案に係る中間報告があり、審議の結果、30日間の意見募集を行うことが決議された。

質疑、コメント等は特になし。

(10) 【報告】 (SC86-3-10-1, 3-10-2)

原子力学会 2022 春の年会企画セッションの提案

①標準委員会主催企画セッション「規格基準類における役割と関係の整理」

(担当：標準活動基本戦略タスク 鬼沢委員)

標準活動基本戦略タスク 鬼沢委員から SC86-3-10-1 に基づき、題記について説明があった。

②標準委員会共催 水化学部会主催企画セッション「水化学管理標準の活用事例と要望」

(担当：システム安全専門部会 水化学管理分科会 河村主査)

システム安全専門部会 水化学管理分科会 河村主査から SC86-3-10-2 に基づき、題記について説明があった。

(11) 【報告】 (SC86-3-11)

L1放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応状況について

(担当：技術評価対応者 大畑(LLW放射能評価分科会幹事))

技術評価対応者 大畑(LLW放射能評価分科会幹事)からSC86-3-11に基づき、題記対応状況について報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：規制庁からは標準に記載されていない事項まで聞かれているということか？（中村副委員長）

A：標準記載事項の技術評価のため、その技術的根拠について聞かれている状況。（大畑分科会幹事）

Q：規制庁の認識はどうか？（山本委員長）

A：現状分析の3つの要因については規制庁も同じ理解。埋設事業者も決まっておらず、技術評価はまだ早すぎるのではないかと審査部隊は言ったが、電力から強く要望され、全力でサポートするというので技術評価を開始した。これまでの電力のバックアップが不十分だったのではないかと感じている。規制庁からの質問の半分くらいについて、どのような問題意識を持っていて、何を聞きたいのかを説明する一覧表を作成して学会に提示したが、残りの質問についても作成して提示する予定。昔作ったデータは、待てばある程度は出てくると考えている。手持ちの技術的根拠がどれくらいあるのかに応じて、どこまでを技術評価範囲とするのかを決められる。必ずしも許認可にストレートに使うことを目指して作った標準でないのなら、学会から電力に対して、そのように言ったほうがよい。公開の意見聴取会でもそのように言ってほしい。電力と学会で事前に十分に相談して対応してほしい。（規制庁・佐々木）

C：大変だと思うが、引き続き対応をよろしくお願いしたい。（山本委員長）

(12) 【報告】 (SC86-3-12)

JCNRM からの「地震 PRA 標準 2015 英語版」へのコメント対応方針について

(担当：リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会 根岸幹事)

リスク専門部会 外的事象PRA分科会 地震PRA作業会 根岸幹事からSC86-3-12に基づき、題記対応方針について報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：標準への海外専門家からの意見の入手はグローバルな活動として有意義であること、地震 PRA 作業会から相手先への返答に際には「丁寧な回答」を心掛けるようコメントがあった。

(13) 【報告】 (SC86-3-13)

JCNRMへの参加報告について

(担当：JIWG 川口コーディネータ)

JIWG 川口コーディネータからSC86-3-13に基づき、題記について報告があった。

#### 4 標準活動基本戦略タスクの活動

##### (4-1)【報告】(SC86-4-1-1～4-1-6)

標準活動基本戦略タスクの報告と論点、基本方針と活動計画の見直しについて

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC86-4-1-1～4-1-6 に基づき、標準委員会の基本戦略にかかる検討状況、活動基本方針の修正案、標準委員会の活動にかかる基本方針、標準活動基本戦略タスク 2021 年度第 3 回議事録、2021 年度-2022 年度計画（工程）、2021 年度第 2 回標準活動運営委員会議事録について報告があり、基本方針の修正案について、2 週間の意見募集を行うこととなった。

##### (4-2)【報告】(SC86-4-2)

2021 年度標準委員会の日程について

(担当：事務局)

事務局が SC86-4-2 に基づき、2021 年度標準委員会の日程について提案があり、暫定的に次回開催日を 3 月 2 日（水）午後開催として決定した。また会議形式については、今後の状況を見て検討することになった。

##### (4-3)【報告】(SC86-4-3)

倫理教育の実施状況について

(担当：標準活動基本戦略タスク 三宅委員)

標準活動基本戦略タスク 三宅委員から SC86-4-3 に基づき、倫理教育の実施状況について報告があった。

##### (4-4)【報告】(SC86-4-4)

標準策定 5 か年計画の更新について

(担当：事務局、標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC86-4-4 に基づき、標準策定 5 か年計画の更新について報告があった。

#### 5 その他（次回日程等）

- ・ 次回は 2022 年 3 月 2 日（水）午後開催予定。
- ・ 転載許諾について、編集上の修正であるか否かは標準委員会標準活動基本戦略タスクで確認を行い、標準委員会では審議が必要な個所のみを示すこととする。

以 上